

中央帯に関する  
調査表記入マニュアル

## [C100] 中央帯

この調査表は、道路の中央帯に関する基本的データを登録するためのものである。なお、ここで取扱う中央帯は「道路構造令の解説と運用」（社）日本道路協会「3-3中央帯」の規定に準ずるものとする。（なお、50cm程度の幅で区画線が引いている場合、或いはゼブラ表示においても中央帯としての機能を有しその目的のために設置されている箇所はデータ整備対象とする。）

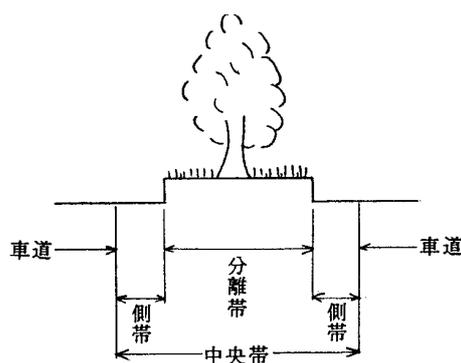
### 1. 一般的注意事項

(1) データは次の単位で作成する。

- 都道府県市区町村毎とする。 注)
- 路線毎とする。
- 中央帯の型式毎とする。

注) ・データ作成単位が管轄（事務所や出張所）や都道府県市区町村に跨る場合には、管轄毎、市区町村毎に分割してデータを作成すること。  
・市区町村の境界が不明確な場合や市区町村境と管轄境界が一致しない場合には、担当部署や関連する事務所及び出張所間で協議してデータを作成すること。

(2) 中央帯連続区間で大幅に幅員が変化する場合、分割してデータを作成しても良いがこの場合、関係部署と協議を行うこと。



### 2. 記入事項

- (1) 工事番号
- (2) 工事区分C
- (3) 施設対応番号
- (C) 地整C





(AC) 中央帯延長 (m) :◆

中央帯の延長について、小数点以下1位まで記入する。(記入例参照)

(記入例)  $L = 845.15\text{ m}$  ———> 845.2

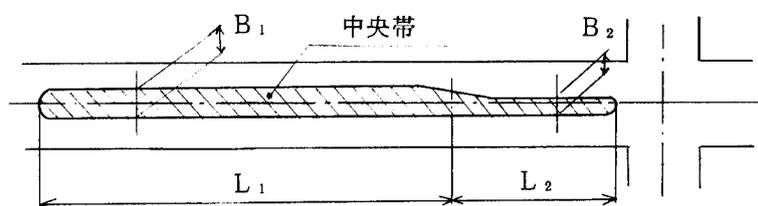
(AD) 中央帯幅員 (m)

中央帯の一般部(右折車線部等を省く)の代表的な部分の幅員について、小数点以下2位まで記入する。

(記入例)  $B = 2.55\text{ m}$  ———> 2.6

(AE) 中央帯面積 (m<sup>2</sup>)

中央帯の面積について記入する。(記入例参照)



$$A = L_1 \times B_1 + L_2 \times B_2$$

(記入例)  $A = 1518.24\text{ m}^2$  ———> 1518

(AF) 分離帯延長 (m)

中央分離帯の延長について、小数点以下1位まで記入する。

(AG) 分離帯幅員 (m)

中央分離帯の幅員について、小数点以下2位まで記入する。

(AH) 分離帯面積 (m<sup>2</sup>)

中央分離帯の面積について記入する。

(AI) Aタイプ植栽組合せ延長 (m) :◆

(AJ) Bタイプ植栽組合せ延長 (m) :◆

(AK) Cタイプ植栽組合せ延長 (m) :◆

上記(AI)～(AK)については、中央分離帯に植栽が設置されている場合の組合せについて、Aタイプ(街路樹+灌木+張芝)植栽、Bタイプ(灌木+張芝)植栽、Cタイプ(張芝のみ)植栽に最も近いタイプの各植栽帯ののべ延長を記入する。植栽の設置がない場合は‘\*’を記入する。

(AO) 防護柵有無C

防護柵の有無について、該当するコードを記入する。

区 分	コード
無 し	0
有 り	1

(AT) 遮光フェンス有無C

遮光フェンスの有無について、該当するコードを記入する。

(AO) 防護柵有無Cのコード表と同様。

(AV) 遮光フェンス型式

遮光フェンスの型式を、15文字以内の日本語で記入する。なお、該当区間に形式が複数ある場合は代表的なものを記入する。遮光フェンスがない場合は「\*」を記入する。

(AW) 遮光フェンス延長 (m)

遮光フェンスの延長 (のべ延長) を記入する。遮光フェンスがない場合は「\*」を記入する。

(AX) 備考

特記事項があれば50文字以内の日本語で記入する。

(AY) 市区町村自C：◆

該当する区間の始点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡旭村の場合 ——> コード：08401  
(検査数字は含まない)

(BA) 市区町村至C

該当する区間の終点側の市区町村名のコードを記入する。使用するコードは「全国市町村要覧」を参照し、「都道府県市区町村コード」を記入する。

(記入例) 茨城県鹿島郡大洋村の場合 ——> コード：08403  
(検査数字は含まない)

# 道路施設基本データ作成対象項目一覧表

1/1

C100：中央帯

項目名	入力書式		CSV作成対象	
	データ表現	単位	全国版 SYOGEN	中国版 SYOGEN_0
工事番号	半角16文字			○
工事区分C	半角1文字			○
施設対応番号	半角16文字			○
地整C	半角2文字			○
事務所C	半角2文字			○
出張所C	半角2文字			○
路線	9999		○	○
現旧区分C	半角1文字		○	○
整理番号1	半角8文字		○	○
整理番号2	半角4文字		○	○
整理番号3	半角4文字		○	○
補助番号	半角2文字		○	○
百米標自	999.9	k m	○	○
距離自	9999	m	○	○
百米標至	999.9	k m	○	○
距離至	9999	m	○	○
施設完成年度	999	和暦		○
施設改修年度	999	和暦		○
設置年月	199901	西暦		○
型式C	半角2文字		○	○
中央帯延長	999999.9	m	○	○
中央帯幅員	99.99	m		○
中央帯面積	99999999	m <sup>2</sup>		○
分離帯延長	999999.9	m		○
分離帯幅員	99.99	m		○
分離帯面積	99999999	m <sup>2</sup>		○
Aタイプ植栽組合せ延長	999999	m	○	○
Bタイプ植栽組合せ延長	999999	m	○	○
Cタイプ植栽組合せ延長	999999	m	○	○
防護柵有無C	半角1文字			○
遮光フェンス有無C	半角1文字			○
遮光フェンス型式	全角15文字			○
遮光フェンス延長	999999	m		○
備考	全角50文字			○
市区町村自C	半角5文字		○	○
市区町村至C	半角5文字			○

※データ部記入内容詳細については、別途「道路施設基本データ作成入力書式マニュアル」参照